

会 議 概 要

会議の名称	令和3年度第2回社会教育委員会会議
開催日時	令和3年10月28日(木) 15時30分 開会 17時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センター さざ波 中会議室
出席者名	深谷委員長、山本副委員長、梅田委員、平野委員、安瀬委員、武藤委員、杉原委員、村田委員、毛利委員、工藤委員、三橋委員、菅委員 12名 教委～教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査、土佐主査、北村主査、鈴木主事
欠席者名	渡辺委員、鈴木委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議 事 議案第1号 各種社会教育委員研修会・会議について 議案第2号 令和3年度前期社会教育事業の実施状況について 5. その他 6. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和3年度第2回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和3年10月28日(木) 15時30分～17時00分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 中会議室

3 会議及び用務

第2回社会教育委員会会議

4 出席者

社会教育委員～深谷、山本、梅田、平野、安瀬、武藤、杉原、村田、毛利、
工藤、三橋、菅 各委員

欠席～渡辺、鈴木 各委員

教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査
土佐主査、北村主査、鈴木主事

5 結果要旨

1. 開 会

2. 深谷委員長あいさつ・教育長あいさつ

3. 議 事 (深谷委員長による進行)

○議案第1号 各種社会教育委員研修会・会議について

①各種研修会の開催状況について

・新型コロナにより中止、書面開催となった会議について事務局より説明。

・10/24 佐呂間町で開催された遠紋地区社会教育委員研修会について出席された山本副委員長、梅田委員より報告（梅田委員の報告の詳細は別紙）

②12月8日開催の社会教育委員等研修会について

・テーマは「社会教育中期計画の策定のために必要な視点」に決定。

・当日司会は深谷委員長が務めることに決定。

○議案第2号 令和3年度前期社会教育事業の実施状況について

別紙資料に基づき各担当から説明を行った。〈以下質疑応答〉

- (工藤委員) 新型コロナの影響で2年間様々な事業が中止となっており、モチベーションが下がっている団体も多いと思うが、今後継続ができなくなった事業などがあれば教えていただきたい。
- (渡辺主査) 百人一首教室の実行委員会は元々高齢の指導者が多く、2年間読んでいないため再開後も読めるかどうか不安で、いっそ実行委員会を解散しようかという話も会議の中で出ていました。最終的には1年間かけて読み手の後継者を探してみようということで実行委員会は存続することで落ち着きました。
- (工藤委員) 小学生時代に百人一首教室に通っていた高校生などに声を掛けてみるのは一つの手かも知れません。
- (平野委員) 湧別町はカルタの歴史が古く、盛り上がっていた時期もあったと聞いているので、何とか続けてほしい。
- (村田委員) 湧別高校では授業に百人一首を取り入れるなど力を入れている。何かしらのお手伝いできればと思います。
- (教育長) この問題はコロナの影響というより高齢化の課題と言えるかも知れません。そういった事業ごとの課題を来年度策定する中期計画の中で検討していただきたい。
- (梅田委員) 我がまち湧別町のお宝をたずねる旅について、事務局から時期未定で延期と説明がありましたが、五鹿山を見てもらうのであればやはり春がいいと思いますので、令和4年5月頃に実施する予定です。
- (深谷委員長) 100kmマラソンのオンラインチャレンジについては、人数制限で参加できなかった方でも参加できるため、リアル大会が開催された場合も並行して実施してほしい。
- (梅田委員) 博物館親子講座は参加者2組と人数は少なかったものの、とても熱心に説明を聞いていて、参加された親子にとってはよい経験になったと思います。今後も人数にかかわらず開催してほしい。
- (毛利委員) 遠紋地区研修会でも話題に出ていた子ども食堂について興味があり、現在商工会の女性部で色々と検討しています。

5. 閉 会 終了 17時00分

令和3年度
第2回社会教育委員会議案

と き 令和3年10月28日(木)
午後3時30分
ところ 文化センターさざ波 中会議室

<会議日程>

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

報告第1号 各種社会教育委員研修会・会議について

- ①各種研修会の開催状況について
- ②12月8日開催の社会教育委員等研修会について

報告第2号 令和3年度前期社会教育事業の実施状況について

その他

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	梅田 唯士	上湧別屯田市街地		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	安瀬 勇	上湧別屯田市街地		
	武藤 智和	開盛		
	杉原 武純	旭		
	村田 一平	中湧別南町		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	渡辺 香織	中湧別南町		
	鈴木 由美子	栄町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	三橋 裕介	中湧別南町		
	菅 済	富美		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	坂本 雄仁
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査(社会教育担当)	渡辺 武文
社会教育G主査(文化振興担当)	土佐 信太郎
社会教育G主事	鈴木 健太
社会教育G主事	原 茉畝
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
図書館主査(湧別図書館)	高橋 結香梨
図書館主査(中湧別図書館)	北村 公樹
ふるさと館JRY・郷土館主任	林 勇介

令和3年度 湧別町社会教育委員等研修会開催要項

1. 趣 旨 令和3年度の改選で約半数が新任委員となった本町社会教育委員において、令和4年度に社会教育中期計画を策定するのを前に、本年度は住民ニーズの把握と社会教育委員としての専門的な見識を深める重要な年である。
このため、令和2年1月に連携協定を締結した北海道大学大学院教育学研究院からの派遣講師による専門的見地での助言をいただきながら、社会教育委員としての心構えはもとより、多種多様な住民ニーズをどのように捉えて、どう計画に反映させていくか、また実行性の高い計画とするための視点などについて考える一助とするものである。
2. テーマ (仮) 『社会教育中期計画の策定のために必要な視点』
3. 日 時 令和3年12月8日(水) 13時30分～
4. 場 所 湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
5. 内 容 講演形式による研修会
6. 講 師 北海道大学大学院教育学研究院長 宮崎 隆志 教授
7. 対 象 約45名

湧別町教育委員	4名
湧別町社会教育委員	14名
湧別町図書館協議会委員	6名
湧別町スポーツ推進委員	12名
湧別町教育委員会職員	10名
8. 予 算 講師謝礼(旅費を含む): 企画財政課未来づくりグループ予算で対応
9. 主 催 湧別町教育委員会、湧別町社会教育委員の会
10. 備 考

(1) 第3回社会教育委員会会議を同日開催する。

時間	内容	場所
13:30～15:00	研修会	多目的ホール
15:10～17:00	第3回社会教育委員会会議	中会議室

*会議には、講師もアドバイザーとして出席願う。

(2) 第2回社会教育委員会会議(10月)において、研修テーマの選定や、司会進行などの役割分担について協議する。

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
基盤整備	生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の発行（2カ月に1回）（佐呂間町が担当町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷費 1,188千円	「湧く湧く」 印刷費 535千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の毎月発行 ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の偶数月発行。（6月号は原稿が不足し、発行中止。） ・町ホームページによる事業PR（4月～9月） まちな話題 記事数20件（昨年同期10件） コロナの影響を受け、施設の開館状況や、事業の変更など臨機応変な周知を行った。 ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索している。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応している。	10-1 10-3
	指導者の発掘・養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	—		10-4
	団体活動の支援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	—		10-4
	生涯学習振興奨励事業	年間	—	（生涯学習住民活動推進事業） グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件程度 300千円		上半期実績なし。	10-4
	施設の整備・運営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画のとおり	—	別紙社会教育施設整備計画に記載するとおり。	10-2 10-5
家庭教育	家庭教育研修会	12/12（日）	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会へ後援依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円		「子どもたちの健やかな成長を願って」 講師 未定 主催 教育委員会 後援 連合PTA（予定）	1-1
	健康こども課との事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	—	家庭教育支援と子育て支援の連携強化に向けた打ち合わせ会議の開催 ・第1回 10/27 ・議題 社会教育課家庭教育研修会について	1-3 1-4
	家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	—	校長と教育AD間の連絡により随時教育相談に対応している。 特に必要とする数名の保護者に対しては、直接の面談も含め継続的に相談をしている。	1-2
少年教育	児童宿泊研修会 ⇒延期	6/17(木)～18(金) 12/2(木)～3(金)	ネイバル北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費57千円 （2,500円×1/2×45人） バス借上料49千円		今年は5校、35名で実施予定であったが、5/20に新型コロナの影響から当初予定していた6月の開催は困難と判断し、12/2～3開催へ延期と決定。	2-1 2-4
	子ども会の育成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 250千円	補助金 170千円	子ども会員十育成者（保護者）合計749人（昨年778人）（子ども会安全会加入者数より） 青少年指導センター事務局を教育委員会で支援（関連事業に掲載）	2-2
	第1回子ども会リーダー研修会 ⇒中止	7/28（水）～29（木）	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	青少年指導センター会計から支出	新型コロナの影響によりリーダークラブの活動を休止しており、今年度は会員の新規募集を行っていないため中止。代替としてリモート操作を学ぶことを目的とした活動を行っている。	2-1 2-2 2-3
第2回子ども会リーダー研修会	3/29（火）～30（水）	紋別市生涯学習センター						

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
少年	百人一首教室 (仮)	11月～1月 毎週土曜日	農村セン ター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費43千円	0円	10/11実行委員会を開催。競技種目の特性をふまえ協議の結果、教室、大会ともに中止とした。	2-1 2-3
	第53回新春交歓 カルタ大会	R4.1/23 (日)						
	年	湧うゆう湧くわく 体験塾	年間 (月2回程 度)	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円	報償費10千円 需用費7千円	小学生22名登録。4/24入塾式、7/10子牛とふれあい&バターづくり体験、7/17川釣り体験、8/7愛ランドYOUで仲間づくり、8/21パークゴルフ体験、10/16球根植え付けボランティア 【今後の予定】JRY体験、ネイチャークラフト、X'masリース作り、ケーキ作り、氷下釣り、茶道体験、流氷ハイク、閉塾式など 協力：久保体験牧場、湧別アウトドアクラブ、パークゴルフ協会、網走西部森林管理署、加工センター、湧別茶道サークルなど ※新型コロナの影響により5回の事業が中止となった。
育	湧別町・新篠津村 友好都市少年交流 事業 ⇒中止	8/3(火) ～5(木)	新篠津村 (派遣 年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして、中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費90千円 需用費10千円 借上料395千円	0円	受け入れ先の新篠津村からの申し出により、6/11中止とした。	2-1 2-2 2-4
青	青年団体の育成・ 援助	年 間	青年会館 ほか	子どもを対象とした冬季事業、屯田七夕まつりでの出店など、伝統を受け継ぐ青年団体協議会を支援する。	補助金 160千円	補助金 160千円	5/5総会を開催。会員数15名。	3-1 3-2 3-3 3-4
年	【令和2年度から延期】 令和3年成人式 【延期】 ⇒中止	R3.5/2 (日) ⇒ 9/19(日)	文化セン ターさざ 波	新成人を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする見込。 ※軽食ボランティアとの協働 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費623千円 需用費41千円⇒ 894千円(6月補 正)	報償費0円 需用費282千円	令和2年度からの延期として5/2開催予定であったが、新型コロナの影響により9/19に再延期とし、名称も「20歳の集い」と改めた。しかし、緊急事態宣言対象地域に在住し出席が困難な参加予定者が多数いることから8/20中止を決定。対象者83名に対して記念品を郵送したほか、町ホームページに特設ページを設置し、町長メッセージ、恩師からのお祝いの言葉などを掲載した。	3-1
育	令和4年成人式	R4.1/9 (日)					軽食ボランティアの募集と昼食交流会の実施を取りやめ。式典は通常通り実施予定。	
成人	第45回湧別町民 大学	9月～11月 全5回	文化セン ター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンル講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	運営費助成 1,520千円	6/22、8/5に実行委員会を開催。 第1回目である9/29瀬古利彦氏の講演については、緊急事態宣言中であることから11/30に延期とした。 10/13丸谷智保氏、10/29本田優子氏、11/10小林快次氏、11/25高野優氏、11/30瀬古利彦氏	4-1 4-2 4-3 4-4
	第11回ふるさと 講座 ⇒延期	10/2(土) ⇒ 11/27(土)	文化セン ター TOM	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「湧別川」	講師謝礼 20千円		10/2開催予定であったが、緊急事態宣言が延長された状況などを踏まえ、11/27に延期。 中島一之氏(JRY館長)、上嶋耕太氏(網走開発建設部遠軽開発事務所技官)、綿張洋史氏(ゆうべつアウトドアクラブ会長)を講師に、「湧別川」をテーマに湧別川の特徴や役割、魅力について学ぶ。	
	第9回我がまち湧 別町のお宝をたず ねる旅⇒延期	5/22(土)	五鹿山公 園	普段見落としがちな町の価値(＝お宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。昨年中止となった「五鹿山」の魅力を感じ取る企画	講師謝礼10千円 借上料55千円		澤口政一氏(東町)、白幡美栄子氏(港町)を案内人に、五鹿山の花や野鳥などを紹介する企画を計画。 当初参加予定人数25名で5/22開催を予定していたが、緊急事態宣言の発出により5/17に開催延期を決定した。延期後の日時については未定。	
	PTA団体への援助	年 間	—	各学校のPTAやその連絡組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	補助金 180千円	連合PTA事業運営費の補助を実施。	
育	ボランティア団体 との連携	年 間	文化セン ターさざ 波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	—		4-2 4-4

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
高齢者教育	チューリップ生きがい大学の開設	月1回程度	文化センター・TOM・さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費236千円 需用費36千円 印刷製本83千円 借上料680千円	報償費0千円 需用費0千円 印刷製本0千円 借上料94千円	144名入級、6クラブ。4/13開講式、5/12健康体操と講話、10/19芸術鑑賞会（落語）、11/17講演会、12月クラブ活動発表会、1/21映画観賞会、3/9閉講式、お楽しみ会 ※新型コロナの影響により町内バスツアー、日帰り研修、宿泊研修、秋の健康体操と講話が中止となった。	5-1 5-2 5-3 5-4
	世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	—		
芸術	文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	補助金 300千円	加盟団体24団体を擁し、湧別町文化連盟として活動。総合文化祭などの文化活動を展開する。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により総合文化祭は中止。	6-2 6-4
	鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	各文化センター	A.良いもの見よう聞こう会の活動支援 B.企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 C.その他実行委員会等への活動支援	補助金 10,000千円		A.良いもの見よう聞こう会 2公演予定 B.企画委員会ビッグ・ウェーブ 0公演 C.その他実行委員会 0公演 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	6-1 6-2 6-4
文化	幼児芸術鑑賞会	7/6(火) 7/7(水) ⇒延期 12/16(木) 12/17(金)	文化センター・児童センター	幼児対象（2日 2公演） 公演内容「食べられたやまんば(人形劇ほか)」 新芸能集団「乱拍子」	公演料 500千円			6-1
	児童芸術鑑賞会	9/7(火) ⇒中止	文化センターさざ波	小学生全学年対象（1公演） 公演内容「海底2万マイル」劇団ボブラ ※町内小学校5～6年生の紋別市鑑賞会の参加なし。次回参加年度は令和4年度以降。	公演料 500千円		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。公演は次年度繰越。 ※令和4年度の紋別市開催の劇団四季こころの劇場開催は未定。（対象児童5～6年生）	6-1
活動	中学生芸術鑑賞会	10/6(水) ⇒中止	文化センターさざ波	中学生全学年対象（1公演） 公演内容「真夏の夜の夢」(株)笑う猫文化事業局	公演料 500千円		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。公演は次年度繰越。	6-1
	子どもアート体験事業	未定 ⇒中止	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。講師：神山山陽氏	—		新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	6-1 6-4
振興	文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—		文化センターさざ波ギャラリー展示 「湧別カメラクラブ写真展」 4/16～4/30 「ふるさと館JRY」 6/29～8/20 文化センターTOMギャラリー展示 常設展示～写真、俳句、友好都市交流	6-2 6-3 6-4
	カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	講師謝礼 25千円	子ども陶芸教室 7/22(木)、8/13(金) 老人憩いの家陶芸室 小学生15名参加 子ども木工教室 7/31(土) 老人憩いの家木工室 小学生8名参加	6-1
大会	第36回サロマ湖100kmウルトラマラソン ⇒中止	6/27(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路路上） ※スマートフォン用のランニングアプリを活用した代替大会を実施。	負担金3,000千円	900千円	密集回避の対応が極めて困難で、大会参加者はもとより、大会運営にご尽力いただく審判員、ボランティアスタッフ、開催地域の健康と安全を確保するため中止。 【サロマ湖100kmウルトラマラソンオンラインチャレンジ】 ①1day100km 6月27日（日）参加者 170名、完走者 112名、完走率65.8% ②1day 50km 6月27日（日）参加者 279名、完走者 218名、完走率78.1% ③2weeks 100km 6月27日（日）～7月10日（土）参加者5,269名、完走者4,597名、完走率87.2%	

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
の 開 催 等	湧別町少年柔道大会「上野カップ2021」 ⇒中止	10/9 (土) ～10(日)	湧別総合 体育館・ 武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 700千円 歳出総額 3,410千円	0円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いており、道内各地から多くの参加者が町内に集まることにより、万全な感染予防対策がとれないこと、三密や身体接触が避けられず感染リスクが回避できないことや集団感染（クラスター）の恐れがあることなどの理由から、令和3年10月9日（土）・10日（日）に開催予定であった本大会の開催を中止。	9-1 9-2 9-3 9-4
	町民体カテスト ⇒中止	11月	文化センター さざ波	町民に対してスポーツや運動を継続して続けることの大切さや健康づくりを高めるきっかけづくりを図る。	スポーツ推進委員 報酬16千円	0円	ふれあいゆうべつ元気まつり（健康づくり推進協議会）の事業と連携していたが、実施しないため中止。	
	第46回町民300歳バレーボール大会	12/5(日)	湧別総体 他	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品28千円 食糧費33千円			
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	【新規】 ボルダリング体験 教室	12月～3月	中湧別総合 体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：遠軽高校山岳部監督 畑野 和宏 氏 対象：小学生	講師謝礼 10千円			
	【新規】 スラックライン体験 教室	11/14 (日)	中湧別総合 体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：北海道スラックライン代表 山森 和也 氏 サポート： // 副代表 山森千恵子 氏 アマチュア全国1位 山森 さほ 氏 対 象：小学生の部（午前） 中学生以上の部（午後）	講師謝礼 60千円			
	町民ランニング教室 ⇒中止	9月	文化セン ターTOM・上湧 別百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 講師：作、AC北海道代表 作田 徹 氏 作、AC北海道 菊地 真司 氏 // 澤井 玄 氏 サポート：北海学園大学陸上部 対象：午前の部：中学生以上対象（初心者、中・上級者） 午後の部：小学1年生～6年生対象	講師謝礼 120千円	0円	講師が札幌市内であり、予定していた時期が緊急事態宣言中であったため、延期も検討したが講師の都合がつかず中止。	
ス ポ ー ツ 教 室	ジュニアスイミング スクール	7/13 (火) ～16(金)	湧別プール (第1回)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	48千円	7/13・14:1年生の部（18名）36名、3～6年生の部（17名）29名 7/15・16:2年生の部（12名）23名	9-1 9-2 9-3
		8/24 (火) ～27(金)	湧別プール (第2回)				8/24・25:1年生の部（14名）25名、3～6年生の部（9名）15名 8/26・27:2年生の部（10名）19名	
講 習	少年少女初心者スケート教室	R4. 1月予定	芭露ス ケートリ ンク	初心者に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円			
	クロスカントリー スキー教室	R4. 2月予定	五鹿山ス キー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：阿部雅司(リレハンメル五輪金メダリスト)	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円			
	健康運動教室	4月～3月	湧別総合 体育館	トレーニング器具等を使った個人（または集団や団体）指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員 原 菜畝	—	—	4月参加者27名、6月参加者13名（6/26のみ）、7月参加者19名、8月参加者11名（8/21のみ）、9月中止、10月参加者2名（10/2のみ）	9-1 9-2 9-3

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
会 事 業	運動指導	4月～3月	湧別総合 体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金（9：00～11：00） 火・木（14：00～16：00） ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	-	-	4月参加者51名、5月参加者14名（7日、11日、13日のみ）、6月参加者6名（22日、24日のみ）、7月参加者18名、8月参加者25名、9月中止	
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	チャレンジスポ ーツスクール事業	5月～3月	湧別総合 体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月 入学式・五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 6月 軽スポーツ（中湧別総合体育館） 7月 お楽しみ会（湧別総合体育館） 8月 フットベースボール（湧別総合体育館裏） 9月 パークゴルフ（湧別運動公園） 10月 風船バレー・ミニバレー（中湧別総合体育館） 11月 室内雪合戦（湧別総合体育館） （湧別総合体育館） 12月 フロアボール（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー （芭露スケートリンク） 2月 タグラグビー（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館）	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬61千円 スポーツ推進委員 報酬269千円	スポーツ推進委員 報酬61千円	5月 9日 入学式・五鹿山マラソン : 36名 6月26日 軽スポーツ : 29名 7月31日 お楽しみ会 : 30名 8月28日 フットベースボール : 中止 9月11日 パークゴルフ : 中止 10月16日 風船バレー・ミニバレー : 名	9-1 9-2 9-3
	巡回スポーツ指導	随時	町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円			9-2 9-3
	スポーツ推進委員 研修	随時	管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	スポーツ推進委員 報酬129千円	北海道スポーツ推進委員研究協議会⇒中止 オホーツク管内社会体育振興セミナー兼遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員等研修会 10月30日 佐呂間町民センター 集会室 : 3名	9-2 9-3
団 体 活 動 の 育 成 援 助 等	少年スポーツ団体の 育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円			9-2 9-4
	一般スポーツ団体の 育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金735千円	補助金735千円		
	大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。（湧別町スポーツ・文化遠征費補助金）	補助金2,000千円	補助金905千円	7件	
	合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 （湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金）	補助金1,378千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり			
施 設 の 整 備 活 用	施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり		別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 90千円			
そ の 他	スポーツ安全保険 の加入促進	随時	-	広報及び事故手続き等の補助	-			9-2
	図書館資料の収 集、整理、保存	通年	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。	資料費（図書、雑誌、新聞、視聴覚） 8,271千円		蔵書冊数 図書 中湧別 75,044冊＋湧別 67,256冊＝142,300冊 雑誌 中湧別 1,259冊＋湧別 951冊＝2,210冊 視聴覚資料 中湧別 1,073点＋湧別 1,701点＝2,774点	7-1

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
図書館	利用促進、読書機 会の提供	通年	両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。 新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用			・本館貸出人数 中湧別 3,436名+湧別 1,797名=5,233名 (前年比較 中湧別 106.0% 湧別 103.6%) ・本館貸出冊数 中湧別 12,229冊+湧別 8,163冊=20,392冊 (前年比較 中湧別 91.1% 湧別 111.1%)	7-2
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス			登録者 2名 延べ利用数 141冊	7-2
	ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートバック（絵本などが入ったバック）をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。 協力（バック制作） ・ルピナスの会 協力（読み聞かせ） ・リーディング倶楽部たんぽぽ ・湧高ボランティア部	資料費（絵本） 130千円		・ブックスタート 20組 ・ブックスタートプラス 12組	7-2
図書館	絵本くらぶ	年間 (毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭に おすすめ本セットを宅配する。（登録制）			登録者 18名 延べ利用数 93名 465冊	7-2
活動	移動図書館車の運行	通年	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等			・個人団体貸出冊数 12,279冊 内訳 個人 4,175冊（前年比較 193.5% 昨年5月連休） 団体 8,104冊（前年比較 90.0%）	7-3
活動	学校図書館支援	通年	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布			・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・調べ学習用図書整備 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学（芭露学園、湧別小、富美小、中湧別小） ・読書オリエンテーション（10/5、10/13）	7-4
	映画上映会	年2回	湧別 図書館	湧別図書館の多目的室を活かし映画会を行う。	消耗品 50千円 (DVD)			7-2 7-3
	古本コーナー	通年	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。			ロビー等にて実施 累計利用数 中湧別 1,171冊 湧別 1,595冊	7-2 7-3

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
図書館	特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示			町民大学講師著作展示	7-2 7-3
		年間	両館	テーマ：年中行事			子どもの日、北斎、星野道夫、母の日、本屋大賞、チューリップ、天気、父の日、リック・カール、ももんちゃん、ようちえん絵本大賞、七夕、かわいいおぼけ	
		4/23～5/10	両館	子ども読書週間			絵本「リサとガスパール」（中湧別図書館） 絵本貸出ベスト50（湧別図書館）	
		10/27～12/5	両館	読書週間			大人の怪談 10/23～11/21 中湧別図書館 幻の湧別運河 10/27～11/14 湧別図書館	
		7/2～7/13	中湧別図書館	絵本原画展示「ためぎの花よめ道中」	著作物使用料 30千円	著作物使用料 8千円	絵本原画巡回展 7/2～7/13	
		年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—		食生活サポート、教科書、日ハムキャンペーン、町民大学、地域おこし隊フォトブック	
活動	連携・ネットワーク	通年	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼほ、湧別高校ボランティア部） ・読書推進活動支援「オープンブックカフェ」			適切なコロナ対策を確立出来ないため、活動を休止している。	7-4
		年3回	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施				
		会議3回 研修2回	湧別図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修 (遠紋ブロック研修会:紋別市) (オホーツク管内公共図書館協議会:端野)			第1回会議 7/8 出席委員 6名 第2回会議 10/29 研修会 12/8 第3回会議 2/25	
		7月～9月	両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加			青少年のための200冊展示 7月～9月 参加者17名	
文化財保護	文化財の保護① 埋蔵文化財	年間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 ・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 *7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催			○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 ・埋蔵文化財包蔵地の照会：17件 ・事前協議7件（協議継続中2件） ・所在調査5件 ・試掘調査3件（道教委支援1件） ・新発見遺跡：福島団地7遺跡 ・工事立会2件、慎重工事1件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業（遺跡パトロール）随時実施 ・周知資料（台帳等）の内容確認と修正 ・道史跡内の国有地の取得（2筆） ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 ・遺跡の内容詳細を把握するための発掘調査 7月15日～8月11日 ・令和3年度発掘調査概要報告書の刊行（3月末予定） ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 第一回：7月21日開催、委員3名、道教委担当者1名、町教委4名 第二回：2月（予定） 文化庁調査官現地指導：10月14～15日	8-1
		年間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロフシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整			○北海道指定文化財「佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落」の経過観察 ・経過観察の実施（9月） ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・0件 ○記念木 ・1件（総合体育館敷地記念木：枝の伐採）	8-1

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
博物館 活動	博物館資料① 収集	年間	郷土館・ ふるさと 館JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の文化財認定と譲与申請			○博物館資料の寄贈受入 ・寄贈資料受入6件（せんべい焼型ほか） ○文化財の認定と取得 ・埋蔵文化財の譲与申請：令和2年度発掘調査出土資料	8-1
	博物館資料② 整理・保管	年間	郷土館・ ふるさと 館JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・三宅コレクションの整理 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布） ・ガラスネガの写真の清掃整理 ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧芭小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務			○考古資料 ・三宅コレクションの整理と台帳整備 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布） ・ガラスネガの写真の整理、展示準備 ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧芭小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可 ・2件（ナウマンソウ化石など）	8-1
	調査研究	年間	—	【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 ◎屯田資料 ○活用 ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】 ○保存 （主にシブノツナイ竪穴住居群） ・竪穴住居跡の年代と集落形成に関する研究 ・北海道考古学会 研究大会発表（5月） ○活用 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究			【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 ◎屯田資料、絵ハガキ ○活用 ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財、博物館教育】 ・事例分析：シブノツナイ竪穴住居群と他の竪穴住居群の比較分析 ・科学分析：シブノツナイ竪穴住居跡等出土資料の科学分析 ①火山灰同定 岡孝雄（調査検討委員）、アースサイエンス ②炭化物年代測定 國木田大（調査検討委員）、ハレオ・ラボ ③土器胎土分析 今泉和也（日本学術振興会特別研究員） ・教材研究：遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新 ・事例発表：題目「湧別の大規模竪穴群」 北海道考古学会研究大会『北海道に残る2万3千の竪穴』9月25日（オンライン開催）	8-1
	展示	年間	郷土館 ふるさと 館JRY	○収蔵資料の展示 ・令和2年度の発掘調査成果展（仮） ○郷土館協力員（旧ボランティアガイド） ・展示解説（7月～8月、団体見学日など） ○常設展示更新 ・解説パネルの追加 ・資料名表示の更新 ・地学資料の整理展示 ○収蔵展示室整備			○展示 ・シブノツナイ竪穴住居群 令和2年度調査速報展：6月25日から12月26日まで ○郷土館協力員 ・ガイド活動：中止（例年は5月～9月に実施） ・100キロマラソン前日の展示解説会：中止 ・研修会：中止（例年、発掘調査や近隣の博物館を視察） ・上野カップ当日の展示解説会（中止） ○入館者数（9月30日時点） ・95人（大人85人、内町民16人、幼児～高校10人、内町民10人） ◎企画展示「絵葉書に見る樺太の記憶」 期間：7月1日～8月20日 場所：文化センターさざ波 町民ギャラリー 連携協力事業：オホーツク管内博物館連絡協議会、宗谷管内学芸職員連絡協議会 ○入館者数（9月30日時点） 665人（大人525人、内町民98人、幼児～高校140人、内町民56人）	8-2 8-2

令和3年度社会教育事業（上半期実績）

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	実績額 事業終了分のみ	実績（状況）等	中期計画 推進項目
博物館活動	博物館教育① 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館JRY	<p>【学校授業・研修会・講座】</p> <p>○開拓の歴史 （博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・炊飯体験（薪ストーブ・羽釜） ・開拓期の衣体験 ・囲炉裏疑似体験（屯田生活体験館） <p>○博物館親子講座</p> <p>○先史文化 （地域の財産である遺跡に触れ、親しむ機会の提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先史の工夫を体験するモノづくり学習（土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク ・遺跡の知識を深める考古学関連講座 <p>発掘調査報告会 ⇒11月予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査成果に応じて実施を判断する ・発掘調査現地説明会の開催（主に学校を対象） ・大学と発掘調査を通じた連携 			<p>【学校授業、研修会等の学習機会提供】</p> <p>○授業及び展示解説実績（9月30日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ふるさと館JRY：10件182人（内学校：10件182人） ②郷土館：0件0人（内学校：0件0人） ③出張講演：5件243人（内学校：4件239人） ④施設利用：5件132人 <p>【講座等】</p> <p>○親子講座（発掘調査現地見学会） 7月30日（土）、参加者2組</p> <p>○令和3年度遺跡調査報告会 11月20日（土）（予定）、定員40名 講師2名：①道立北方民族博物館 種石学芸員 ②ふるさと館JRY 林学芸員</p>	8-3
	博物館教育② 広報・情報提供	年間	—	<p>【広報・情報提供】</p> <p>○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP）</p> <p>○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）</p>			<p>【情報公開】</p> <p>○広報 ・博物館だより（湧く湧く内）：4～9月号（136号～141号）</p> <p>○郷土史に関する問い合わせ ・町内の遺跡、屯田兵祖先調べなど</p>	8-3

中期計画推進項目の欄は、第2次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
青少年指導センター	子ども会フットベースボール大会	7/11 (日)	中湧別小学校		学校開放事業を休止しており、練習場所等の確保が困難であることから6/18役員会において中止を決定。延期については、他の行事予定が既に詰まっていることから、不可能と判断。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会	8/29 (日)	開盛小 → 中湧別小	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	7/19役員会で実施の可否を協議。感染対策として開会式、閉会式の場所を工夫するなどして開催を決定した。8/11監督会議を開催し、周知参加募集したが、8/30時点で町内や近隣市町村でも感染者が出ていること、申込が3チームのみであることから中止となった。	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/21 (日)	中湧別総合体育館 湧別総合体育館			
	子ども会リーダー研修会	7/28(水) ～29(木) 3/29(火) ～30(水)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	社会教育事業 少年教育参照（第1回は中止）	
	中高生リーダーの養成	年間	ふるさと館JRYほか	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブ「E=QVL（イクバル）」および「Rainbow prop（レインボープロップ）」と、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	新型コロナウイルスの影響によりリーダー研修会など例年どおりの活動が難しいことから、新規募集は行っていない。代替としてリモート操作を学ぶことを目的とした会として会員募集し、リモートによる活動を行っている。 青少年指導員：5名 E=QVL：3名登録 Rainbow prop：1名登録 4/3、7/26、8/30、9/27 ZOOMによるリモート研修	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年だより発行	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10月30日 ⇒中止 展示の部 10月16日 17日 ⇒中止	文化センターさざ波 文化センターTOM	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
良いもの男ようちんこ会	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	日時未定 ミッフィーこどもミュージカル ⇒中止 9月17日(金) TOM 清水ミチコトーク&ライブ2021 ⇒中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	未定		
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2021	5/9 (日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	一般の部（男子17名・女子7名） 24名 高校生（男子）の部 19名 中学生の部（男子4名・女子1名） 5名 小学生（高学年）の部 6名 小学生（低学年）の部 47名 合計101名	教委、スポーツ推進委員も運営協力
	チャレンジ・スポーツデー2021(うちチャレ)	5/26 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	人口8,467人 参加者85人 参加率1.00%	
	チャレンジデー2021	10/27 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。		

令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
実行委員会	札幌合気会合宿 ⇒中止	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：30名予定	新型コロナウイルスの感染症の影響により中止	
	日本大学合気道部合宿 ⇒中止	10月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定		
	北柔会関連道場柔道合宿 ⇒中止	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定		
	湧別原野林-ツカスカトリス-大会	R4. 2/27	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km		

令和3年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
芭露畜産研修センター	屋上部分防水工事	3,500	3,300	
文化センターさざ波	建物塗装工事（さざ波北面 全5期中4期目）	7,300	6,820	
	ギャラリー内装修繕	500	479	
文化センターTOM	区画線補修工事（北側）	800	566	
湧別総合体育館	トレーニング機器借上（5年リース） トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティングトペクトラルフライ/リアデルト インスティングトレッグプレス/カーフ インスティングトレッグエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	1,298	541	12ヶ月分
中湧別総合体育館	重油タンク改修工事	4,300	4,180	
中湧別野球場	バックネット等改修工事	10,500	10,120	
湧別屋内ゲートボール場	人工芝張替工事	16,000	15,620	
湧別運動公園	トイレ改修工事	1,280	1,265	
五鹿山PG場	乗用型芝刈り機の購入	3,000	2,530	
ふるさと館JRY	エントランス水銀灯	644	506	
	JRY屋根修繕（ガラスブロック防水）	2,415	2,376	